

「在宅介護(介護保険)に関する日米共同研究」への参加

目的:厚生労働省政策科学研究「要支援・要介護高齢者の在宅生活の限界点と家族の役割」(分担研究)のリサーチ・ミーティングおよびミシガン大学主催のパネル・ディスカッションへの参加

期間:平成16年1月29日～2月4日

場所:ミシガン大学(米国ミシガン州アンナーバー市)

内容:1/30～ミシガン大学ジェリアトリックセンター、ミシガン訪問看護、ホームインステッド(日本ではダスキンが提携している民間介護サービス事業者)訪問。

※2/1-2～在宅介護(介護保険)に関する日米共同研究(US-Japan Collaborative Project on Long-Term Care Insurance and Care-giving)リサーチ・ミーティング。

※2/3～ミシガン大学主催のパネル・ディスカッション“Changing Care Relationships in Japan:The impact of National Long-Term Care Insurance”への出席。「介護充実感尺度の開発」および「家族介護者の負担感と充実感の関連」についての報告を行った。